

令和元年度 放課後等デイサービス評価表(事業者向け) 集計

実施日:令和 2年 2月
公開日:令和3年2月10日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	意見	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				●空間としては申し分ないが、広い故に落ち着かなくなる児童が多い。	広い空間を有効活用しながら、児童の障害特性に合った環境設定を行っている。
			100%	0%	0%	0%		
	②	職員の配置数は適切であるか	3		1		●運営時間が長い為、長期休業の期間は人員配置基準を満たすことが大変であるが、工夫している。	学校登校日は1日3～4名の職員・アルバイトを配置している。土曜及び学校休業日についてはそれ以上の職員・アルバイトを配置している。
			75%	0%	25%	0%		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4					施設内は段差がない造りや男女別車いす用トイレ設置により、車いすを利用している子どもにとっても使いやすい環境となっている。
			100%	0%	0%	0%		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4					職員が揃っている会議やミーティングにてPDCAサイクルを意識した業務改善を随時おこなっている。
			100%	0%	0%	0%		
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		1			評価表や保護者の意見をもとに業務改善を随時実施している。
			75%	0%	25%	0%		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4					法人ホームページにて公開している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		2			外部評価受診を検討していく。
			50%	0%	50%	0%		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4				●1人につき年に1回以上、必ず外部の研修に行くようにしている。	専門技術研修は計画に基づいて、1人につき年に1回以上は必ず受講している。また、法人内で虐待防止、接遇マナー、防災についての研修を実施している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4					最低6か月に一度はモニタリングをおこない、目標の達成度や課題を共有して作成している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4					法人内で共有しているアセスメントツールを使用し、個々の児童の特性や状況を判断して作成している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				●どの職員が担当しても実施可能なプログラムの立案をチームでおこなっている。	日々のミーティングで出た案や課題を運営会議で全職員で共有して立案している。
			100%	0%	0%	0%		

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4				●基本のプログラムと、担当者の個性を生かした独自のプログラムを織り交ぜながらおこなっている。	子どもの人数や顔ぶれ、また季節や担当者の個性を生かしながら取り組んでいる。
		100%	0%	0%	0%		
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4				●過ぎの場やスケジュール、プログラムについて各々設定している。	日々のミーティングや会議等で、支援内容や活動についての課題を共有、検討して支援している。個別活動や集団活動を組み合わせ、社会性の獲得を目指している。
		100%	0%	0%	0%		
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				●年齢、発達、好み、環境などの子どもの状況を鑑み、落ち着きと社会性を身に付けるよう計画を工夫している。	個別活動はもちろん、集団活動の中で他者との協働による喜びを感じられるように計画を作成している。
		100%	0%	0%	0%		
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4					毎サービスごとに打合せをしているが、利用時間の長さから十分に打合せができない場合があるため、業務日誌の活用やあらかじめ定めてある必要事項の確認を行い、必要な情報の共有に努めている。
		100%	0%	0%	0%		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1			●長い運営時間の中では特に終了後の打合せができない時がある。	毎サービスごとに打合せをしているが、利用時間の長さから十分に打合せができない場合があるため、業務日誌の活用やあらかじめ定めてある必要事項の確認を行い、必要な情報の共有に努めている。
		75%	25%	0%	0%		
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4					個別支援計画に沿った記録、正しい記録の取り方について徹底し、支援の検証・改善につなげている。
		100%	0%	0%	0%		
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4					最低6か月に一度はモニタリングをおこなっている。子どもの体調や環境などに変化があり必要な場合は、6か月を待たずに計画を変更することもある。
		100%	0%	0%	0%		
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4					児童の障害特性に合わせて複数の活動を組み合わせ支援をおこなっている。
		100%	0%	0%	0%		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4					児童発達支援管理責任者が事前に職員から情報収集をおこなった上で参加している。
		100%	0%	0%	0%		
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1				学校から情報を得る場合には、事前に保護者からの了解を得て必要事項の共有を積極的におこなっている。
		75%	25%	0%	0%		
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	1	2	●医療的ケアが必要な児童については受け入れていない。	現在、利用対象となっていない。相談があった際には、相談窓口を紹介する。
		0%	25%	25%	50%		
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1			●子どもやその成育環境への理解、家族や関係機関との関係づくりのため、積極的に行っている。	小学校入学と同時に利用の場合は事前に保護者からの了解を得た上で、保育所や幼稚園等での様子を見学したり、情報共有するよう努めている。
		75%	25%	0%	0%		

⑳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	1			移行先の事業所や相談支援事業所より求められた場合、必要な情報を保護者の了解を得てから提供している。
		50%	25%	25%	0%		
㉑	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2		2			当該機関と定期的に情報共有をおこない、助言を受けている。
		50%	0%	50%	0%		
㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4			日々の活動の中で、可能な限り交流を図っていく。
		0%	0%	100%	0%		
㉓	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	2		●自立支援協議会については児童部門がない。	法人から代表者が協議会の相談支援・就労支援・くらしの部会に各々参加している。
		25%	25%	50%	0%		
㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4					連絡帳での情報共有を基本に、必要に応じて電話や面談を実施して保護者と共通認識を持って児童の支援をおこなえるよう努めている。
		100%	0%	0%	0%		
㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1			●ご家族の考え方、現状を肯定しながら、支えることができるよう、寄り添う姿勢を大事にしている。	保護者が家庭での療育に自信を持てるよう必要な助言をおこなうとともに、保護者が気持ちを発することができるよう心掛けている。
		75%	25%	0%	0%		

㉖	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4					契約書・重要事項説明書に沿って説明をおこない、同意を得ている。
		100%	0%	0%	0%		
㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4					保護者から要請があった場合には、随時対応している。
		100%	0%	0%	0%		
㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	1			保護者会は年に1回定期開催している。また、冬休み期間に3日間施設公開をおこない、活動の様子を見てもらい、保護者同士で話を共有するなどの機会を持っている。
		25%	50%	25%	0%		
㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4					法人内の苦情対応窓口、区の窓口、東京都の相談窓口を周知している。苦情については報告を速やかに行い、早急に子ども、保護者からの話を聞き、説明などを行うとともに、改善に向けた取り組みを迅速に行っている。
		100%	0%	0%	0%		
㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	4					機関紙「ぱすてる」を年4回発行の他、必要に応じてお知らせを発行している。
		100%	0%	0%	0%		
㉛	個人情報に十分注意しているか	4					書類関係は鍵付き書庫や金庫に収納している。会話の中では個人情報に触れる際は周囲に聞こえないように、配布する際は2重チェックするなど注意している。また、定期的に未然防止チェックリストに取り組んでいる。
		100%	0%	0%	0%		

③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4					絵カードやジェスチャアなど障害特性や発達段階に応じて使い分け、予定も可視化して伝えるようにしている。
		100%	0%	0%	0%		
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		2		●区保健福祉センター内に位置していることから、他事業所とも協力して地域交流を行っていきたい。	町会の祭りへの参加や近隣の公園への外出など活動に組み入れられているが、更に地域に開かれた運営に向けて検討していく。
		50%	0%	50%	0%		
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1				防犯マニュアルを策定中のため、出来次第周知・徹底していく。また、さすまた研修実施済みの他、毎月区の事業で「子どもの安全」巡回パトロール(青パト)が見回りに来ている。
		75%	25%	0%	0%		
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4					避難訓練を年に2回実施している。また、消防の指導の下、同建物内の他事業所との避難訓練も行っている。
		100%	0%	0%	0%		
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4					法人内で虐待防止のための委員会があり、研修など法人全体で虐待防止に向けた取り組みをおこなっている。
		100%	0%	0%	0%		
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4					法人として身体拘束を禁止している。
		100%	0%	0%	0%		
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4					現在アレルギーを持っている児童がいないが、アレルギーによる特別な対応がクラブ内で必要な場合は保護者からのヒヤリングと医師の指示に基づいて対応する。
		100%	0%	0%	0%		
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		1			事例記録用紙に記入し、随時見直している。また、業務日誌のインシデント報告欄に記入、情報を共有している。
		75%	0%	25%	0%		

非常時等の対応